



新政会
坂井 英明
議員

中心市街地活性化対策について

質問 個別店舗への対応についての対策を伺う。

答弁 街なかに人を歩かせ、人が集うような仕組みづくりを引き続き実施し支援する中で、ビジネスチャンスが見出され、シャッター街といったマイナスイメージを払しょくすることで、新規出店や不動産の流動化が図られることに期待しています。

観光情報の発信について

質問 国内外への情報発信の考え方について伺う。

答弁 菜の花まつりなどのイベントの開催、食や花などを活かしたツアーの誘致、東アジアをターゲットとした外客誘致に取り組んでいます。広域観光についても、周辺市町との連携について取り組んでいるところです。

質問 取り組みに一貫性を感じられず、目標が明確になっていない

のではないか。

答弁 目標は世界に誇れる国際田園都市で、豊かな資源を活かした魅力あるまちづくりを目指し、集客交流事業や広域観光、国際観光を推進しています。本市には強力な観光資源はありませんが、目標に向かいできることを行っていく中で、有効なものを抽出し、市民の皆さんと磨き上げていくことが重要と考えています。

まち自慢のパークゴルフ場について

質問 現段階での市民への意見の聞き取り状況と今後の取り組みについて伺う。

答弁 関係団体へ説明する中で、要望、意見として、コースの整備、料金、無料コースのあり方、工事期間、近隣パークゴルフ場・ふれ愛の里との連携、交通手段の確保、既存パークゴルフ場の存続などがありました。現在、設計作業を進めており、管理運営、料金体系などについてプロジェクトによる検討を進めています。今後、議会や市民の皆さんへ説明し、意見を聞きたいと考えています。



日本共産党
清水 雅人
議員

浴室未設置市営住宅の建替促進について

質問 市営住宅浴室未設置住宅解消には20年・50億円以上かかる。一方、道はエレベーターの無い道

営啓南団地143戸と滝の川団地32戸を募集停止し、建替計画策定に入るなど30年進んでいる。北海道に学び、建替促進のために一般会計から公営住宅特別会計への繰出しや貸付け等の検討を求める。

答弁 繰出し制限はありませんが、特別会計で行うのが基本と考えています。しかし、何ができるか、あるべき姿について今後勉強していきます。

道補助金が低額でも福祉灯油を実施できる独自財源確保について

質問 市は平成19年度、20年度に福祉灯油を実施した。平成20年度の助成額は1世帯4千円で1、938世帯に実施した。昨年度も灯

油価格が暴騰したが、北海道の助成額が低いことを理由に実施しなかった。この冬も価格が100円を超える情勢の中、独自にでも実施できるよう財源対策を求める。

答弁 市独自の財源対策について、既存事業の見直しを含め検討していきます。

買い物対策について

質問 経済産業省の「地域自立型買い物弱者対策支援事業」(補助率3分の2、上限1億円、道内で14件採択、ほとんどが移動店舗)で、札幌市北丘珠では4、600人の地域にミニスーパーが採択された。総事業費1億円で約65坪を建て替えし、生鮮3品が中心。①国の補助制度要望 ②同ミニスーパーの出店経過の調査などを求める。

答弁 北丘珠は、スーパーから2km離れ、バスは1時間に1本で買い物困難地域に認められました。事業者がいるかいないかが最大の問題で、出店しても地域の協力がなければ継続できません。事業者がいれば、国の制度のみならず、市の独自協力も検討したいと考えています。